

3 プレゼンテーション（生徒発表）

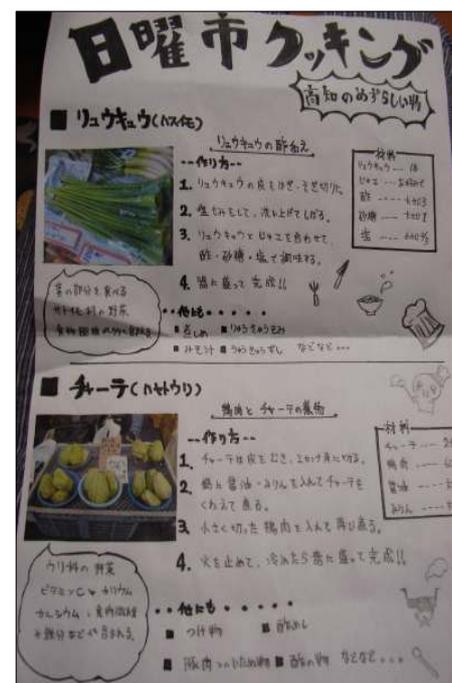
●「高知城のお膝元 日曜市」

私たちは高知の活性化をするため、「高知城のお膝元日曜市」について発表します。なぜ日曜市をテーマにしたかと言うと、高知が全国に誇れるものの一つで、高知県民の人情あふれる場所であり、最近では県内外からも来てくださる方が多く、高知の活性化を行っていくには最適な場所だと考えたからです。

まず、日曜市に訪れていた 100 人にアンケートを実施しました。「本日はどこの県からお越しになりましたか」という質問では、高知県の 40%を上回り、多かったのは県外の 60%でした。県外層の中でも関東地方からの観光客が多く、北海道、青森など東北地方の方もいらしていたことが分かりました。次に、「日曜市にあったらいいと思うものは何ですか」という質問をしたところ、半数を占めていたのが休憩所、ゴミ箱に関する要望です。私たちが調べた中で、休憩所は 1カ所しか見られませんでした。続いて、荷物の一時預かり所、何らかのイベントでした。そして、「日曜市に対する意見」を聞いたところ、生産者の顔が見えるので安心などの意見がありました。次に、私たちは高知市内の小学生 60 人にアンケートを行いました。小学生では、たくさんお店が出ていて楽しい、人が多くて前に進めないといった意見がありました。

その後、高知市役所に提案をしてきました。まず休憩所については、「分かりにくい」や「入りにくい」等の意見があり、現状の改善策として気軽に休めるカフェテラスのような休憩所への改装、ベンチの設置を提案しました。それに対し、「増設及び改善は人件面での問題があり難しい」と回答をいただきました。場所を分かりやすく表示して欲しいという提案については、「旗を立てるなど、県内外のお客様に分かりやすいよう検討する」という回答をいただきました。トイレについては、アンケート結果で「たった一つの日曜市のトイレが汚く残念だった」という意見が多数あり、清掃の徹底、またはトイレの増設を提案しました。それに対し、「清掃の回数を増やしても建物自体の老朽化が進んでいて、なかなかきれいにならない。増設は財政難で予算確保が難しい」という回答をいただきました。続いて、子供向けイベントの開催を提案したところ、現在は日曜市のみで使えるお買物券を幼稚園、保育園へ配布しており、また季節ごとのイベントを提案したところ、「ゴールデンウィークといった祝祭日のイベントは観光客が多く、混雑するので実現が難しい」との回答をいただきました。そして調理講座については既にレシピを作成している出展者もいるとお聞きしましたので、私たちも作ってみました。（右図）

以上の回答を踏まえ、私たちは改めて提案をします。まず、高知市内の各学校の生徒会と連携し、新しく休憩所の設営及び管理をする。そして、子供向けイベントの開催。「はじめてのおつかい」をもじった「はじめての日曜市」。これは児童が安全に買い物できる環境をつくることで、自然と日曜市における若年層、将来の日曜市の顧客を増やすという目的があります。次に、エコバッグの作成及び貸出



し。エコに対する意識が高まっている近年、エコバッグも普及しつつあります。しかし、私たちが日曜市で取材を行った際、エコバッグを持参している方が少ないように見え、そこでエコバッグの作成、貸出を行うという提案です。そしてトイレの改装及び増設については、日曜市内でエコバッグの貸出によって資金を捻出するという提案です。